



～かごしまの遺跡～

第8号 平成 27 年 9 月 30 日

平成 27 年度上半期発掘調査状況

⑤小 牧 遺 跡

所 在 地：鹿屋市

調査期間：H27.7～H28.1

時 代：縄文

○数字は遺跡位置図内の番号と対応



調査風景



古墳時代の住居跡



打斧デボ



古墳時代の礫集積



近世の溝

小牧遺跡は、大隅半島笠野原台地の東端部、串良川水系が台地を削って形成した独立丘陵上に立地します。調査は今年度始まったばかりですが、これまでに縄文時代後期（約 3,500 年前）の打製石斧デボ、古墳時代（約 1,500 年前）の住居跡や近世の溝状遺構などが見つかっています。

そのうち、打製石斧デボは大隅半島の当時の遺跡で散見されてきた遺構ですが、当遺跡出土の打製石斧は、いずれも長さが 20 cm を超える大形であることが目を引きます。今後、調査成果に興味をそそられます。

支援業務委託：新和技術コンサルタント(株)

※デボ：石斧などを埋納した遺構。

平成27年度上半期発掘調査状況

①高野木遺跡

所在地：薩摩川内市
調査期間：H27.6～H27.7
(終了)
時代：中世・近世



川内川沿いの遺跡です。中世～近世のものと思われる土坑と畑の畝間跡が発見されました。

②萩ヶ峯A遺跡

所在地：鹿屋市
調査期間：H27.5～H28.2
時代：縄文・古墳



高隈山地の南側にある丘陵地の遺跡を調査しています。縄文時代晩期(約 3,000 年前)や古墳時代(約 1,500 年前)の遺物が出土しています。

⑥京の塚遺跡

所在地：大崎町
調査期間：H27.5～H27.10
時代：縄文



約 5,000 年前の深浦式土器が多量に発見されました。大隅地域でこのような例は少なく、今後の調査が期待されています。

⑦永吉天神段遺跡

所在地：大崎町
調査期間：H27.5～H28.1
時代：縄文～古墳・
中世・近世



中世の大型土坑の調査を行っています。
支援業務委託：(株)パスコ

⑩小牧古墳群

所在地：志布志市
調査期間：H27.7～H28.1
時代：縄文～弥生



遺跡があれば何処でも。このような高所でも調査を行っています。安全管理を十分に行っています。

支援業務委託：大福コンサルタント(株)

整理作業

⑦永吉天神段遺跡

所在地：大崎町
調査期間：H27.5～H28.1
時代：縄文～古墳・
中世・近世



発掘調査の現場で整理・報告書作成作業を行っています。
支援業務委託：(株)パスコ

③牧山遺跡

所在地：鹿屋市

調査期間：H27.5～H28.1

時代：縄文・弥生



縄文時代後期(約4,000年前)の埋設土器や土坑、打製石斧等が見つっています。

支援業務委託：(株)島田組

④川久保遺跡

所在地：鹿屋市

調査期間：H27.5～H28.1

時代：旧石器～近世



古墳時代(約1,500年前)の住居跡が多数発見されています。

支援業務委託：(株)埋蔵文化財サポートシステム

⑧平良上C遺跡

所在地：大崎町

調査期間：H27.7～H27.8
(終了)

時代：縄文



約9,000年前の竪穴住居跡がほぼ南北方向に等間隔で3棟発見されました。

⑨春日堀遺跡

所在地：志布志市

調査期間：H27.5～H28.1

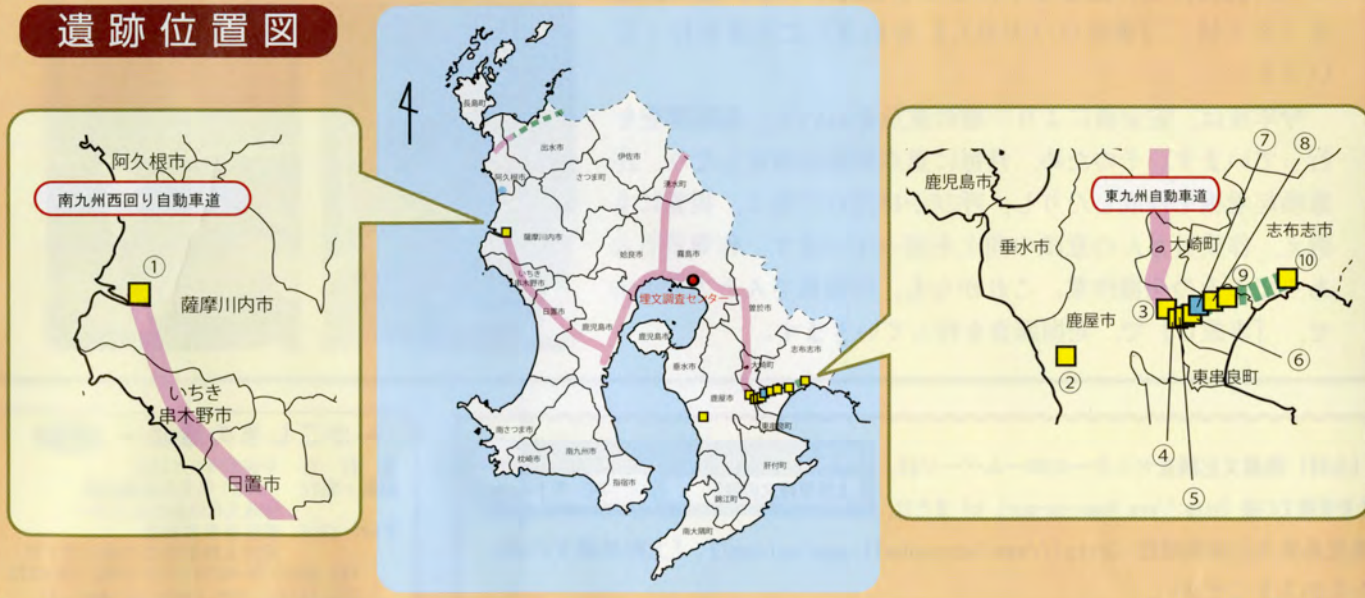
時代：縄文～古代



高所作業車を使って高い位置から遺構の撮影をしています。

支援業務委託：国際文化財(株)

遺跡位置図



発掘成果の公開等

・9月12・13日に宝山ホールにて開催された財団5施設による「鹿児島県文化振興財団体験フェア2015」で発掘調査の成果や作業の様子を紹介しました。

・10月17日(土)・18日(日)には上野原縄文の森で「縄文の森秋まつり」が行われます。その際、今年度の発掘調査の成果の一部を紹介する予定です。

・11月7日(土)に小牧遺跡(鹿屋市串良町細山田)の現地説明会を行う予定です。

・その他発掘調査は随時公開しています。詳しくは埋蔵文化財調査センターへお問い合わせください。

(平成27年度上半期の実績)

遺 跡 名	月 日	名 称
永吉天神段	6月11日	大崎いきいき実年大学遺跡見学
	7月16日	大崎町立大丸小学校6年生遺跡見学
川久保	7月19日	第11回日韓新石器時代研究会遺跡見学
	8月5日	国際第四紀学連合2015会議遺跡見学
萩ヶ峯A	7月27日	鹿屋市文化財ウォッチング発掘体験
	8月4日	霧島市文化財少年団発掘体験
春日堀	8月7日	おおさきっ子歴史探検 発掘体験
	8月20日	志布志市立蓬原小学校職員研修



鹿児島県文化振興財団体験フェア2015 (宝山ホール)



おおさきっ子歴史探検隊発掘体験の様子

安全な調査のために 安全面に気をつけて！

「月毎に安全衛生重点項目を設定」

「安全面への注意喚起看板を作成」

発掘現場は、屋外での作業。今年の梅雨は、例年を大きく上回る降水量となり、発掘現場は滑りやすい状況になりました。また、梅雨が明けると、蒸し暑い日々の連続となり、熱中症が起こりやすい状況になります。そのような中でも、発掘作業は続きます。どんな状況下でも、埋文調査センターは、『事故0(ゼロ)』をめざして作業を行っています。

今年度は、安全面により一層の重点をおいて、発掘調査を行っています。そのため、月毎に重点目標を設定したり、注意喚起看板を作成したりし、呼びかけだけでなく、視覚にも訴え、作業員さんの意識の向上を図っています。作業員さんあってこそその発掘作業。これからも、作業員さんと力を合わせ、『事故0』で、発掘調査を行っていきます。



(公財) 埋蔵文化調査センターのホームページは、
上野原縄文の森 (<http://www.jomon-no-mori.jp>) または、

鹿児島県文化振興財団 (<http://www.houzanhall.com/zaidan/>) 「上野原縄文の森」
からお入りください。

検索キーワード

上野原縄文の森

検索

クリック

～かごしまの遺跡～

第8号

発行日 平成27年9月30日
編集・発行 (公財) 県文化振興財団
埋蔵文化財調査センター
〒899-4318 鹿児島県霧島市
国分上野原縄文の森2番1号
TEL 0995-70-0574・FAX 0995-70-0575
URL: <http://www.jomon-no-mori.jp>
E-mail: maibunchosa@tuc.bbq.jp